



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2138 URL <https://crooz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者CFO (氏名) 関本 清高 (TEL) 03-6387-3622
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,957	2.3	△1,013	—	△865	—	△492	—
2024年3月期第3四半期	10,709	△1.9	253	△50.3	1,203	112.1	1,182	446.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △518百万円 (—%) 2024年3月期第3四半期 1,632百万円 (910.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△49.45	—
2024年3月期第3四半期	106.36	103.71

(注) 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	31,031	9,758	31.0
2024年3月期	27,084	10,808	39.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,613百万円 2024年3月期 10,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	12,957,600株	2024年3月期	12,957,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,322,380株	2024年3月期	2,496,485株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	9,963,274株	2024年3月期3Q	11,122,418株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、6度目の事業転換を行っており、IT人材業界におけるエンジニア人材の不足という市場課題を解決することを主としたシステムエンジニアリング事業（SES事業）を中心に、人材×IT領域を対象として事業展開をおこなっているITアウトソーシング事業をメイン事業としております。

経済産業省が公表した「IT人材需給に関する調査（注1）」によると、IT関連市場規模の拡大に伴い、2030年までIT人材の不足は年々増加すると予測されており、2030年には最大で約79万人のIT人材が不足する見込みと言われております。また、IT人材の平均年齢の高齢化もあり、ITニーズの増加に伴う需給ギャップの拡大は今後益々拡大されることが予測されます。その中で、当社グループのITアウトソーシング事業は2020年の事業開始から前期まで売上高年平均成長率約69%と大きく成長してきております。当第3四半期連結会計期間においては、売上高は1,215,873千円（前年同四半期比154.3%）、営業利益が34,570千円（前年同四半期は営業損失30,355千円）となりました。事業進捗は好調、かつ損益分岐点も超え今後は利益を積んでいく状況となっており、さらに成長させるために引き続き注力していきたいと思っております。

EC事業については、当第3四半期連結会計期間の売上高は2,206,985千円（前年同四半期比108.8%）、営業利益が70,160千円（前年同四半期比41.0%）となりました。前年同四半期と比較して、売上高は伸びております。これは2023年4月から事業開始したAda.事業の伸展によるものです。Ada.事業は、主に『ZOZOTOWN』内で展開する、オリジナル商品と他社優良ブランドの商品を厳選したファッションセレクトショップを運営しております。Ada.事業は季節要因による変動が若干ありますが、事業開始から順調に成長しております。

その他の事業のうち、メディア事業については、当第3四半期連結会計期間の売上高は122,642千円（前年同四半期比50.2%）、営業損失が7,847千円（前年同四半期は営業利益45,810千円）となりました。前年同四半期比で売上及び利益とも下回り、思うような結果になりませんでした。GameFi事業については、当第3四半期連結会計期間の売上高は394,730千円（前年同四半期比59.2%）、営業損失が174,390千円（前年同四半期は営業損失412,687千円）となりました。売上及び営業損失とも、運営しているゲームの売上が低調な結果となっていることが主な要因となります。

今後はメイン事業となるITアウトソーシング事業に経営資源を集中し、さらに業績を伸ばしていきます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,957,163千円（前年同四半期比2.3%増）、営業損失1,013,078千円（前年同四半期は営業利益253,109千円）、経常損失865,785千円（前年同四半期は経常利益1,203,408千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失492,671千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,182,996千円）となりました。

（注1）2019年3月公表の経済産業省「IT人材需給に関する調査 調査報告書」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① ITアウトソーシング事業

売上高は3,250,628千円（前年同四半期比54.4%増）、セグメント損失は23,688千円（前年同四半期はセグメント損失82,764千円）となりました。

② EC事業

売上高は5,862,430千円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント利益は51,719千円（前年同四半期比82.7%減）となりました。

③ メディア事業

売上高は471,310千円（前年同四半期比34.9%減）、セグメント利益は20,381千円（前年同四半期比88.4%減）となりました。

④ GameFi事業

売上高は1,358,455千円（前年同四半期比44.8%減）、セグメント損失は812,938千円（前年同四半期はセグメント利益94,909千円）となりました。

⑤ その他事業

売上高は14,338千円（前年同四半期比85.0%減）、セグメント損失は248,552千円（前年同四半期はセグメント損失233,147千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金の減少2,267,089千円などがあつた一方で、投資不動産の増加6,718,393千円などにより、31,031,567千円（前連結会計年度末比3,947,481千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、社債の減少1,500,000千円などがあつた一方で、長期借入金の増加6,063,716千円などにより、21,273,322千円（前連結会計年度末比4,997,977千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上492,671千円及び自己株式の増加562,191千円などにより、9,758,244千円（前連結会計年度末比1,050,495千円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、2025年3月期の業績予想の開示を見合わせます。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,856,318	10,589,229
売掛金	3,136,332	3,386,715
商品	309,106	402,847
その他	752,332	749,618
貸倒引当金	△18,238	△550,696
流動資産合計	17,035,850	14,577,714
固定資産		
有形固定資産	600,702	552,894
無形固定資産		
ソフトウェア	185,204	185,024
その他	—	5,671
無形固定資産合計	185,204	190,695
投資その他の資産		
投資有価証券	4,909,257	4,653,506
投資不動産	3,559,866	10,278,259
その他	704,730	705,046
投資その他の資産合計	9,173,854	15,636,813
固定資産合計	9,959,761	16,380,403
繰延資産		
社債発行費	88,472	73,448
繰延資産合計	88,472	73,448
資産合計	27,084,085	31,031,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,661,904	2,003,776
1年内返済予定の長期借入金	219,870	696,164
未払金	1,326,659	971,109
未払費用	437,002	418,754
未払法人税等	535,861	78,611
その他	2,255,170	2,379,486
流動負債合計	6,436,468	6,547,903
固定負債		
社債	7,000,000	5,500,000
長期借入金	2,658,964	8,722,681
繰延税金負債	28,545	18,980
その他	151,366	483,757
固定負債合計	9,838,877	14,725,419
負債合計	16,275,345	21,273,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,413,903	1,379,395
利益剰余金	11,450,334	11,043,170
自己株式	△3,248,240	△3,810,431
株主資本合計	10,076,161	9,072,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	577,150	548,229
為替換算調整勘定	△7,303	△6,824
その他の包括利益累計額合計	569,846	541,405
新株予約権	10,291	10,306
非支配株主持分	152,441	134,235
純資産合計	10,808,740	9,758,244
負債純資産合計	27,084,085	31,031,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,709,948	10,957,163
売上原価	5,637,830	6,327,632
売上総利益	5,072,118	4,629,530
販売費及び一般管理費	4,819,008	5,642,609
営業利益又は営業損失(△)	253,109	△1,013,078
営業外収益		
受取利息	63,338	65,611
為替差益	4,031	1,296
投資事業組合運用益	950,533	157,355
貸貸収益	—	225,723
その他	35,971	25,423
営業外収益合計	1,053,874	475,410
営業外費用		
支払利息	30,857	114,110
持分法による投資損失	47,673	34,953
社債発行費償却	15,023	15,023
貸貸費用	—	128,908
その他	10,021	35,122
営業外費用合計	103,575	328,117
経常利益又は経常損失(△)	1,203,408	△865,785
特別利益		
新株予約権戻入益	1,941	0
関係会社株式売却益	708,835	—
投資有価証券売却益	—	1,008,129
受取和解金	—	6,000
固定資産売却益	1,217	44
移転補償金	19,142	—
その他	58	—
特別利益合計	731,195	1,014,173
特別損失		
固定資産除却損	—	1,024
投資有価証券評価損	51,071	4,999
事業譲渡損	7,574	—
事業撤退損	73,657	—
和解金	8,000	—
貸倒引当金繰入額	—	534,782
その他	19,105	2,536
特別損失合計	159,408	543,343
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,775,194	△394,954
法人税、住民税及び事業税	599,238	84,481
法人税等調整額	—	11,036
法人税等合計	599,238	95,517
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,175,956	△490,472
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,039	2,199
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,182,996	△492,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,175,956	△490,472
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	458,622	△28,920
為替換算調整勘定	△2,194	479
その他の包括利益合計	456,427	△28,441
四半期包括利益	1,632,383	△518,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,639,423	△521,113
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,039	2,199

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITアウト ソーシング 事業	EC事業	メディア 事業	GameFi事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,105,092	5,322,153	724,261	2,463,107	10,614,615	95,332	10,709,948	—	10,709,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79,716	—	100	—	79,816	426,911	506,728	△506,728	—
計	2,184,809	5,322,153	724,361	2,463,107	10,694,432	522,244	11,216,676	△506,728	10,709,948
セグメント利益又は損 失(△)(注) 2	△82,764	298,508	175,603	94,909	486,257	△233,147	253,109	—	253,109

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない共通費を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITアウト ソーシング 事業	EC事業	メディア 事業	GameFi事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,250,628	5,862,430	471,310	1,358,455	10,942,824	14,338	10,957,163	—	10,957,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,024	—	616	—	67,641	483,573	551,214	△551,214	—
計	3,317,652	5,862,430	471,927	1,358,455	11,010,465	497,911	11,508,377	△551,214	10,957,163
セグメント利益又は損 失(△)(注) 2	△23,688	51,719	20,381	△812,938	△764,525	△248,552	△1,013,078	—	△1,013,078

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない共通費を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ITアウトソーシング事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、取得株式数3,640,000株、総額2,000,000千円を上限として、2024年2月14日から2024年12月31日(約定ベース)の期間で自己株式の取得を行いました。これにより当第3四半期連結累計期間において単元未満株式の買取りを含め、自己株式を825,895株取得し、自己株式が562,191千円増加しました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	175,633千円	203,239千円

(重要な後発事象の注記)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2025年1月17日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社であるCROOZ SHOPLIST株式会社（以下、「SHOPLIST」と言います。）の全株式を株式会社MEDIQUITOUSに譲渡することを決議いたしました。併せて、同日開催のSHOPLISTの取締役会において、SHOPLISTの当社に対する債権の一部を債権放棄する決議をいたしました。

(1) 譲渡の理由

今後も成長が見込まれるITアウトソーシング事業に経営資源を集中させることが当社グループ全体の成長に寄与すると判断したため、今回の株式譲渡を決定いたしました。

(2) 異動する連結子会社の概要

- ①名称 : CROOZ SHOPLIST株式会社
- ②所在地 : 東京都渋谷区恵比寿4-3-14 恵比寿SSビル
- ③代表者の氏名 : 代表取締役 仲佐 義規
- ④事業の内容 : ファッション通販SHOPLIST.com by CROOZの企画、開発、運営
- ⑤資本金 : 120,000千円
- ⑥設立の時期 : 2018年3月14日
- ⑦出資比率 : 当社 100%

(3) 株式譲渡の相手先の名称

株式会社MEDIQUITOUS

(4) 株式譲渡の時期

2025年2月28日（予定）

(5) 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

- ①譲渡株式数 : 100,782株
- ②譲渡価額 : 先方要請により非公開
- ③譲渡損益 : 2025年3月期連結会計年度において約243百万円（概算）を、関係会社株式売却損として特別損失に計上する見込み
- ④譲渡後の持分比率 : -%